

川島成道

ヴァイオリン無伴奏音楽の魅力

講師 ヴァイオリニスト 川島 成道

ヴァイオリン無伴奏音楽の歴史は300年前のバッハに始まり、その約100年後にイタリアに出現したパガニーニによって今日への道のりが決定づけられたといっても過言ではありません。

本日はパガニーニの開発した様々な技巧に焦点を当て、解説を交えお届けいたします。



<演奏曲目>

・J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004 「シャコンヌ付き」

・パガニーニ: 24の奇想曲 より

<講師紹介>裏面をご覧ください。

日時 2025年 7/6 1回 日曜日 13:30~15:00

受講料 会員 3,553 円(入会金は 5,500 円。70 歳以上は入会無料、証明書が必要です)

一般 4,653 円

設備費 165 円

※入会金・受講料・教材費等は消費税 10%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方はお申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。



朝日カルチャーセンター

<千葉教室>

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1 千葉中央ツインビル1号館5階

TEL : 043-227-0131

<https://www.asahiculture.com>

＜講師紹介＞ 川畠 成道（かわばた なりみち）

視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997 年、同院をスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。翌年、東京・サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開、毎年数多くのリサイタルを行う。国内外の主要オーケストラとも多数共演。ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、スロヴェニア国立マリボール歌劇場管弦楽団、ボローニャ歌劇場室内合奏団などにソリストとして迎えられいずれも高い評価を得ている他、欧州最高のオーケストラのひとつであるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の日本ツアーのソリストとして成功を収めるなど着実な歩みを進めている。CD は、ファースト・セカンドアルバムがそれぞれ 20 万枚の記録的大ヒットとなり大きな話題を集めて以来、2018 年のデビュー 20 周年記念アルバム「J.S.BACH 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ BWV1001-1006」まで、15 枚をリリース。尚「ザ・ベスト」と「クライスラーを弾く」、「無伴奏の世界」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題や NHK ラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。文部科学省スペシャルサポーター大使。

＜川畠成道オフィシャルサイト <https://www.kawabatanarimichi.jp>＞